

事務事業名	水道事業会計出資金	□ 実施計画事業	所属部局	市民部	単位番号	4098				
			所属課室	環境課	課長名	深澤 政樹				
基本政策	III うるおいと利便性のある都市づくり	□ 実施計画事業	所属担当	環境保全担当	担当者名	花輪 俊明				
政策	14 上下水道の整備		予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
				01	一般	0	4	0	1	0
施策	22 良質な水の安定供給		事業区分	□ 国の制度による義務的事業	□ 施設等維持管理事業					
				□ 県の制度による義務的事業	□ 補助金交付事業					
事業期間	□ 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) □ 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)		法令根拠	□ 市の制度による義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他の事業					
				□ 義務化されている協議会等の負担金						
事業の内容 事務事業の概要	事業の内容 事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 町村合併により通常事業により増嵩した分の事業費に対して1/2を上水道に出资する。 旧の野呂川上水、旧若草上水、櫛形簡水、甲西簡水が統合し、水道事業になったことに伴い「統合整備事業」を実施するに当たり合併特例債を適用し一般会計から出資する。		事業費の主な内訳 (22年度)	項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				出資金	123,000					
						計	123,000			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	上水道連結事業、給配水計画事業、総合システム事業を行った。
23年度活動予定	上水道連結事業、給配水計画事業、総合システム事業を行う。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	水道事業者
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	安定した事業の経営を行い、飲料水の安定供給を行う。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	起債償還金返済終了年度を把握することで、今後の返済の見通しがつく。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 給水世帯数	戸
イ	
ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 水道事業数	件
イ	
ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 水道事業における出資金の割合	%
イ	
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 良質な水の確保や安定供給	地域
イ	

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータル	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円	320,400	123,000	65,800	185,100	225,000	
		その他	千円						
		一般財源	千円						
		事業費計 (A)	千円	320,400	123,000	65,800	185,100	225,000	0
人件費	正規職員従事人数	人							
	延べ業務時間	時間							
	人件費計 (B)	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)+(B)	千円	320,400	123,000	65,800	185,100	225,000	0	0
活動指標		ア 戸	26,326.0	26,476.0	26,500.0	26,600.0	26,700.0	26,800.0	
対象指標		イ							
成果指標		ウ							
上位成果指標		ア 件	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
		イ							
		ウ							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	町村合併により、旧野呂川上水、旧若草上水、櫛形簡水、甲西簡水が統合し水道事業となったことに伴い「統合整備事業」が開始された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特になし

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	水道事業会計出資金	所属部	市民部	所属課	環境課
-------	-----------	-----	-----	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 良質な水の安定供給の目的から施策に結びついている。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 良質な水の安定供給を行い生活環境の保全をしていくためには、税金の投入は妥当である。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 良質な水の安定供給の目的であるため、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 年間計画にしたがって事業を執行しているため、向上の余地は難しい。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 水の安定供給が困難になる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 全体計画が完了できなくなる。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 事業計画に対しての設計金額であるので削減余地はない。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 事務処理経費のみであり最低限の人件費であるため削減の余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 各地域への水の安定供給の目的のため公正公平と思われる。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	特になし
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)
(2)改革改善案について	コスツ水準
①特になし。	削減 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 増加
②	
③	
(4)改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5)事務事業優先度評価結果
①	成果優先度評価結果
②	対象外
③	コスト削減優先度評価結果
	対象外